

◇地元産業界との連携事業

『北広島市の地域づくりに関する住民意識構造分析』 担当者：鈴木聡士（工学部教授）

※北広島市との包括連携協定に基づく協働事業の一つとして実施。

1. 連携先

北広島市

2. 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標

北広島市では人口減少・少子高齢化という問題・課題がある。そこで、本事業は、北広島市の地域づくりに関する住民意識構造を分析し、札幌都市圏において人口減少予測率が高い都市のひとつである同市の人口増加施策の立案に示唆を与えうる研究を行うとともに、実際の政策立案においても北広島市と連携しながら、様々な活動を行う。

3. 事業の内容

地域づくりに関する住民意識構造を分析し、今後の北広島市の発展に寄与する知見を得るとともに、実際の政策立案においても北広島市と連携しながら、様々な活動を行う。

令和5年度は、

- ・北広島市総合計画推進委員会・委員長
- ・北広島市地域公共交通活性化協議会・副委員長
- ・北広島市都市計画審議会・委員

として、各委員会において連携を深めることに加え、特に地域公共交通の再編や定住人口向上方策等に関連した意識調査分析について、北広島市役所と連携しながら活動を進めている。

さらに、

- ・オール北海道ボールパーク連携協議会・委員

として、ボールパーク周辺の渋滞解消への提言を行う等、同事業の推進に寄与する活動を実施した。

これらの活動を通じて、同市の人口減少・少子高齢化問題の緩和、公共交通の活性化、ボールパークを核とした地域活性化に寄与する研究・地域連携活動を今後も継続して実施する。